

週刊新社会

3月12日



2019年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 164円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

市議に挑戦意欲のある方募集
集中。まじめで憲法を市民
生活に生かす市民限定です

国保料新年度も下げ近隣9市中最も低い 次の課題は均等割の子ども減免

国民健康保険料の引き下げ案が議会に提出されている。それによると号外1906号で報告した保険料率等が変更になっている。理由は新年度の地方税制改正に伴うもので、高齢者医療制度支援分と介護分の所得割と均等割が増えている。そのため、一人当たり保険料平均も84,713円から85,548円となった。それでも東葛地区9市中で最も安く、2年前の17年度と比較して18,800円余下がった。

また、かつて応能応益割*を半々にと国指の指導に従って世帯割と均等割(1世帯中の加入者人数

分を負担)が高かったが、表2のとおり、対17年度比で均等割は41%となり、世帯割は前年度比76%にそれぞれ下がった。

このことによってもたとえば3人世帯の医療分では17年度比で45,600円下がる。応能応益割は58.24%、41.76%となった。これまで定額負担となり、被用者健保にない世帯割や均等割には批判が強く、中でも人頭税ともいわれる均等割が、低所得でも高い保険料となる原因。これは子どもが少なくなる要因のひとつではないか、少子化に歯止めをかけるために子

表1 東葛各市の保険料額比較

自治体名	一人当たり保険料円	低額順位	
		現保険料	新保険料
野田市(新)	85,548	—	1
船橋市	90,583	1	2
市川市	90,902	2	3
野田市(現)	91,082	3	—
我孫子市	91,178	4	4
松戸市	91,286	5	5
鎌ヶ谷市	91,650	6	6
流山市	99,424	7	7
柏市	99,898	8	8
浦安市	108,772	9	9

どもの均等割を軽減しようという自治体がまだ少数だが増えている。

たとえば取手市は茨城県内で初めて、18年度から高校生以下の医療分と支援分の均等割、合わせて31,000円を所得制限なしで半額にした。福島県南相馬市は全額免除である。子ども重視を掲げる野田市の次の課題だ。

なお、保険料上限は法改正であり3万円引き上げて61万円となる条例改正となっている。

*応能応益割：応能割は所得に応じて負担するもので、応益割は所得とは関係なく世帯とその人数によって負担するもの。応益割が高いと低所得者には負担となる。

とんとんみずき橋再築で住民意向調査へ

とんとんみずき橋の残されていた木造部分の撤去が終わった。今後はどのような再築をするのが焦点となっている。

しかし、市の取組は遅すぎる。これからみずき地区の住民対象に調査票で意見を聞くという。野田

市はみずき橋問題はUR都市機構の責任だと裁判を起こしたが完敗。そうならば市が責任を持って再築する以外にない。いつまでぐずぐずしているんだというのが地元率直な声。こんどこそ具体的な再築スケジュールを示すべき。

表2 野田市国民健康保険料推移

年度	医療分				支援分		介護分		一人当たり保険料
	所得割	資産割	均等割	平等割	所得割	均等割	所得割	均等割	
29年度	7.16%	5.00%	26,200円	25,000円	1.84%	10,000円	1.50%	12,200円	103,555円
30年度	5.50%	廃止	14,000円	34,000円	2.75%	11,800円	2.24%	13,300円	91,082円
31年度	5.55%	廃止	10,800円	25,800円	2.90%	12,100円	2.07%	11,900円	85,548円

表中、「支援分」は後期高齢者医療制度支援分、介護分は40歳～64歳の加入者の介護保険料分

議会一般質問も少女虐待死事件に集中

あってはならないこと 実効ある対策は

あってはならない小学校 4 年生の少女の虐待死事件。何度も救える機会があったにもかかわらず救えなかった。

本紙もいち早くこの問題の本質に迫ろうとしてきた。学校現場や柏児童相談所の忙しさからくる対応力の低下は否定しがたい。これまでの福祉の公共サービスの軽視となった、いわゆる自己責任の論調や民間委託という名の低賃金労働者による行政サービスの置き換え、そして蔓延する無責任体制。そこで議会の課題は何か。当然

なぜこのようなことが起こったのか、どうすれば再発防止ができるのか質問力が試される。8 会派すべてがこの問題を取り上げる。表 4 の質問順位 1 から 8 番の議員が今回の事件の質問通告をしている。質問通告内容は野田市議会のホームページに掲載されているのでそちらを参照されたい。

そして議会独自の調査とその結果による提言のための特別委員会提案されたものの構想倒れになったという。なぜか。調査の上、次号以降で報告したい。

表 3 これからの議会日程

期日	開議時刻	会議名	会議内容
11日(月)	10時	本会議	一般質問
12日(火)			
13日(水)			
14日(木)	10時	環境経済委員会	議案等の審査
	13時	総務委員会	
15日(金)	10時	建設委員会	
	13時	文教福祉委員会	
18日(月)	10時	予算審査特別委員会	平成31年度各会計予算の審査
19日(火)			
20日(水)			
26日(火)	10時	本会議(閉会)	委員長報告、質疑、討論、採決

これがアベノミクスの正体

国公労連雑誌「KOKKO」編集者・井上伸のブログから転載

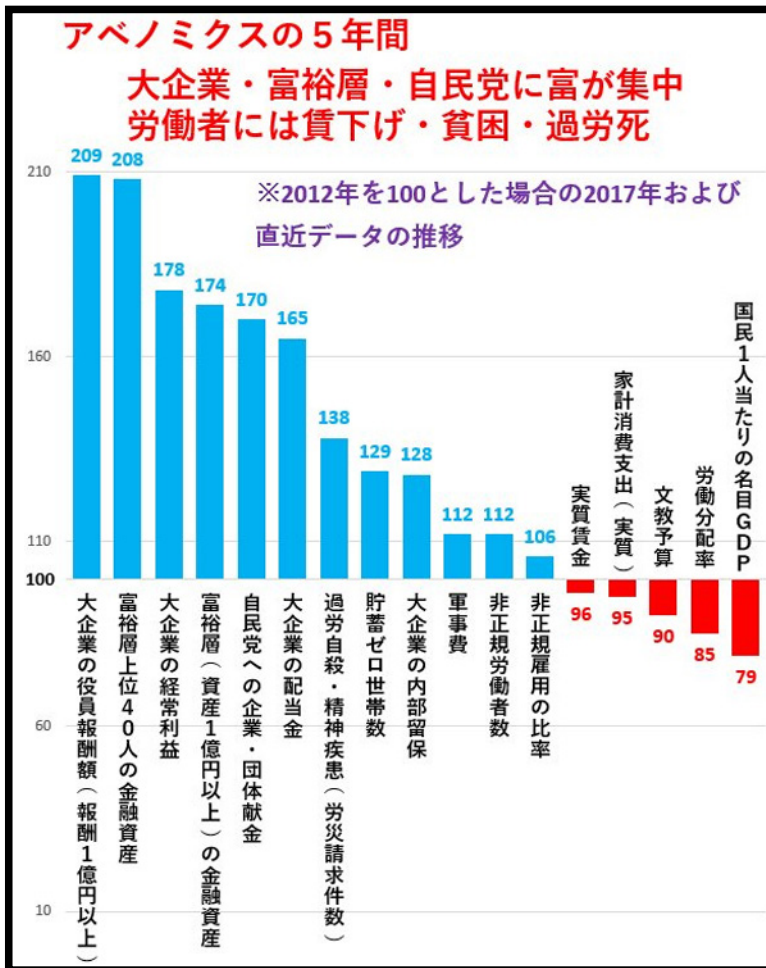


表 4 一般質問順位表

質問日	開議時刻	順位	議員名	会派
11日(月)	10時	1	竹内美穂	政清会
		2	吉岡美雪	公明党
		3	小椋直樹	民主連合
		4	織田真理	日本共産党
		5	小室美枝子	市民ネット
12日(火)	10時	6	栗原基起	新しい風
		7	谷口早苗	無所属の会
		8	池田利秋	地域クラブ
		9	染谷信一	政清会
		10	西村福也	公明党
		11	滝本恵一	民主連合
13日(水)	10時	12	星野幸治	日本共産党
		13	中村裕介	政清会
		14	内田陽一	公明党
		15	長勝則	日本共産党
		16	木村欽一	政清会

今週号本紙 2 面の「政界メモ帳」はおさなみ前議員が書いています。ご覧ください。